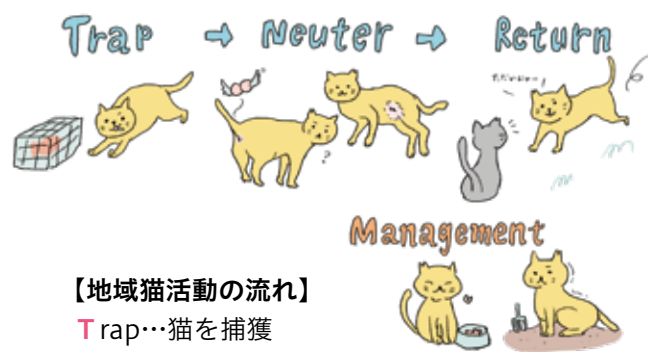




【地域猫活動の流れ】

Trap…猫を捕獲

Neuter…不妊・去勢手術を実施

Return…元の場所に返す

+

Management…餌やトイレの管理を行う

野良猫を巡るトラブルを解決する方法の一つに、「地域猫活動」があります。これは、地域住民が協力して、野良猫の不妊去勢手術（TNR）を行うとともに、継続的な餌やりやトイレ・周辺の清掃など、地域で猫を適切に管理する活動です。野良猫が増えることを防ぐだけでなく、ふん尿や鳴き声などの被害を減らし、人と猫が共生できる地域づくりを目指しています。

地域猫活動は、周囲の理解を得た上で、地域住民自らがルールを作成・共有し、協力して取り組むことが大切です。そこで今回は、村内で地域猫活動に取り組む方々に、活動の想いを伺いました。

地域猫活動



人と猫が共に暮らすまちへ

猫が増える背景には、高齢の方や一人暮らしの方が寂しさから餌をあげるなど、人間側の事情もあります。これ以上不幸な命を増やさないよう、野良猫に餌を与える場合は、不妊去勢手術をして猫が増えない環境をつくる。その上で地域の皆さんに理解してもらい、一代限りの命を見守っていくことが大切だと考えています。毎月第3木曜日には、いながき動物病院のご協力のもと、地域猫活動のための不妊去勢手術を行っています。

猫が好きな人もいれば、苦手な人もいます。どちらか一方のためではなく、猫も人も安心して暮らすための「納得できる選択肢」の一つが地域猫活動ではないでしょうか。誰もが同じ地域で安心して暮らせるまちへ。地域全体で小さな命を見守る輪を広げていければと思います。

人と猫の共生に取り組む皆さん



ともに生き、ともに幸せに

猫は、私たちの身近で暮らす生き物。適切に飼育され、愛されている猫がいる一方で、ふん尿や鳴き声を巡って地域トラブルが起きているのも事実です。「猫が好きな人」も「猫が苦手な人」も安心して暮らせる地域にするためには、猫と人との関わり方を考えることが大切です。

【問い合わせ】くらしの安全課生活環境・空き家対策担当 ☎282-1711 内線1453



野良猫を世話している方へ

野良猫が増える仕組み

猫は、交尾するとほぼ確実に妊娠し、平均6匹の子猫を産みます。多ければ年3回出産するため、繁殖サイクルがとて早く、1匹の猫から1年で約20匹の子猫が生まれ、3年後には2000匹になると試算されています。

無責任な餌やりは控えましょう

猫がおいしそうに餌を食べる姿はかわいいかもしれません。しかし、無責任に餌を与えることで猫の栄養状態が良くなり、繁殖力を高めてしまう可能性があります。餌を与える場合は、飼い主になってからにしましょう。

近年、村には「猫が敷地に入り車や玄関を傷つける」「子猫が家の下で産まれた」など、猫に関する相談が多く寄せられています。人も猫も快適に暮らすためには、飼い猫を適切に屋内で飼育するとともに、野良猫への無責任な餌やりをせず、地域猫活動等を通して、将来的に野良猫を減らしていくことが重要です。この記事を通して、人も猫も幸せに暮らすためにはどうしたら良いか考えてみましょう。

小さな命を救いたい



三宮由美さん
颯真くん

約1年前、道路上でひかれていた子猫を見つけました。「かわいそうな命を少しでも減らしたい」、そんな思いから、自分にできることとして地域猫活動を始めました。

ある日、近所に現れたのは、ガリガリに痩せた一匹の猫。知人に教えてもらいながら捕獲や去勢手術を行い、少しずつ距離を縮めていきました。最初は警戒していたその子も、今ではすっかり慣れ、なでさせてくれるまでに。

近隣の方々の理解も少しずつ広がり、猫が苦手だった方から「かわいいね」と声をかけていただくことも増えました。ご飯を食べに来てくれる猫たちの元気な姿を見るたびに、この活動を始めてよかったと感じています。



関連の支援事業（村では、野良猫の保護は行っていない）

①犬および猫の避妊および去勢手術費補助金

飼い猫（犬）の手術費用を補助
（去勢3,000円・避妊4,000円）

②地域猫活動推進事業（茨城県支援事業）

地域猫活動グループに、「手術券」を交付
（去勢7,000円・不妊1万円）

③さくらねこ無料不妊手術事業（どうぶつ基金）

公益財団法人どうぶつ基金が不妊手術等の費用を全額負担する「さくらねこTNRチケット」を村が代理で申請

※各支援事業の利用には、それぞれ対象資格等の諸条件があります。詳細はお問い合わせください。



飼い主の責任

屋内で飼育しましょう

猫を外に出してしまうと、交通事故や感染症など、さまざまな危険にさらすこととなります。また、ふん尿などが他人の迷惑となり、トラブルに発展することもあります。

不妊・去勢手術をしましょう

万が一、屋外に出してしまった場合、知らないうちに妊娠・出産してしまう可能性があります。飼いきれない数の子猫が産まれると、野良猫が増える原因にもなりかねません。

最期まで飼いましょう

猫は人に安らぎを与えてくれます。ペットとして飼う以上は、「かわいい」で終わりではなく、命を預かる者として最期まで責任を持ちましょう。

